

健康保険組合 2022 年度決算に関し連絡の件

2023年6月28日開催の第182回健康保険組合 組合会にて、2022年度決算が承認されましたので概要をお知らせいたします。

当健康保険組合では、さまざまな医療費適正化対策を実施しております。事業所（会社）と協力して健康経営を推進し、健康増進サービス「kencom」等を通じて、加入者の健康増進や重症化予防、軽運動の促進を図り、ウォーキングイベント「みんなで歩活」、家族健診事業・特定保健指導の実施、ジェネリック医薬品の利用促進、運営費の効率化等に努めてまいります。

引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

1. 決算概要

a. 健康保険（過去5年決算状況）

（単位：百万円）

| | | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | |
|--------|-------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
| | | 決算 | 決算 | 決算 | 決算 | 決算 | 前年比(%) |
| 収 入 | 保険料 | 19,395 | 19,114 | 19,458 | 20,222 | 20,201 | ▲ 0.1 |
| | その他収入 | 770 | 824 | 724 | 777 | 794 | 2.1 |
| 総合収入 | | 20,165 | 19,938 | 20,182 | 20,999 | 20,995 | ▲ 0.0 |
| 支 出 | 保険給付費 | 11,795 | 11,978 | 11,686 | 13,157 | 13,775 | 4.7 |
| | 拠出金 | 6,374 | 6,635 | 6,702 | 7,402 | 7,821 | 5.5 |
| | 保健事業費 | 758 | 716 | 524 | 560 | 533 | △ 4.8 |
| | その他支出 | 475 | 550 | 484 | 494 | 484 | △ 2.0 |
| 総合支出 | | 19,402 | 19,879 | 19,395 | 21,613 | 22,613 | 4.6 |
| 総合収支 | | 763 | 59 | 787 | ▲ 614 | ▲ 1,617 | ▲ 163.4 |

■ 収入合計：平均被保険者数の減少、平均標準報酬月額増加により、前年同水準の約209.9億円となりました。

■ 支出合計：保険給付費、高齢者医療拠出金が増加したことで、前年比4.6%増加の約226.1億円となりました。

■ 総合収支：約16.1億円の単年度赤字となりました。昨年に続き、2年連続赤字決算となりました。

【保険給付費】

2022年度の保険給付費は、約137.7億円（前年比+6.1億円、+4.7%）となり、過去最高額となりました。新型コロナウイルス関連の医療費増加の影響が大きく、また一般被保険者（＝現役世代）の医療費が大きく増加（+7.6億円）したことが影響しています。

【拠出金】

2025年問題等による団塊の世代の高齢化および医療費増加問題、かつ総報酬割が全面導入されていること、前期高齢者の加入率が全国平均（国保含む）と比較して、当健保組合が低いことが要因となり、拠出金は年々増加しています。

2022年度は約78.2億円、前年比+5.5%の増加となりました。

b. 介護保険（過去5年決算状況）

（単位：百万円）

| | | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | |
|---------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | | 決算 | 決算 | 決算 | 決算 | 決算 | 前年比(%) |
| 収入 | 介護保険収入 | 2,286 | 2,229 | 2,233 | 2,284 | 2,588 | 13.3 |
| | その他収入 | 29 | 183 | 155 | 132 | 10 | ▲ 92.4 |
| | 総収入 | 2,315 | 2,412 | 2,388 | 2,416 | 2,598 | 7.5 |
| 支出 | 介護納付金 他 | 2,157 | 2,265 | 2,275 | 2,416 | 2,571 | 6.4 |
| | 総支出 | 2,157 | 2,265 | 2,275 | 2,416 | 2,571 | 6.4 |
| 総合収支 | | 158 | 147 | 113 | 0 | 26 | - |
| 介護準備金残高 | | 336 | 336 | 336 | 317 | 307 | ▲ 3.2 |

- 総収入：2022年3月の介護保険料率改定（1.6%→1.8%）、ならびに介護準備金から10百万円の繰入れを行ったことで、前年比7.5%増加の約25.9億円となりました。
- 総支出：介護納付金の増加により、前年比6.4%増加の25.7億円となりました。
- 総合収支：約26百万円の黒字となりました。

2. 新型コロナウイルスによる医療費への影響

（金額：千円）

| | 2020 | | 2021 | | 2022 | | 前年比 | |
|---------|-------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|-------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 入院等の治療 | 63 | 35,773 | 261 | 123,614 | 402 | 147,111 | 54.0% | 19.0% |
| PCR検査のみ | 3,676 | 42,149 | 20,858 | 198,090 | 66,326 | 371,334 | 218.0% | 87.5% |
| 合計 | 3,739 | 77,922 | 21,119 | 321,704 | 66,728 | 518,466 | 216.0% | 61.2% |

- ・2022年度の新型コロナウイルスの医療費は約5.1億円となりました。
- ・2022年1月の第6波以降、治療費、PCR検査ともに高水準で推移し、2022年7月の第7波の影響でPCR検査の件数が急増したことが増加要因となります。
- ・2021年度の月平均医療費は2,681万円であったのに対して、2022年度では、5,560万円と倍増しました。

3. 健康保険組合を取り巻く環境

団塊の世代が後期高齢者に到達しはじめる2022年度から、全員が後期高齢者になる2025年度にかけて、後期高齢者の医療費急増が見込まれる、いわゆる「2025年問題」による後期高齢者支援金の急激な負担増等が予想され、保険料率の大幅な上昇懸念は解消されず、健保組合財政の悪化は避けられない見通しとなっております。

【2023年度 健保組合予算状況】

- ・全国にある1,380健保組合のうち、約79.2%の1,093組合にて赤字予算となっております。
- ・平均健康保険料率は、9.27%（前年比+0.01p）で、保険料率を引き上げたのは135組合となっております。協会けんぽの平均保険料率（10.0%）以上の組合は、309組合（22.6%）となりました。

4. 医療費軽減への取り組み

当健康保険組合では、今後も医療費の増加抑制、加入者と健康保険組合の負担軽減に取り組んでまいります。そのためには加入者の皆さま一人ひとりのご協力が不可欠です。

事業所（会社）が運営しております『健康経営』を健康保険組合としても強力に推進し、より一層加入者および、そのご家族の健康維持・増進への取組みを強化していきたいと考えております。健康保険組合の現状をご理解いただき、上記取組へのご協力、何卒お願いいたします。

■禁煙がもたらす医療費抑制効果について

禁煙による医療費の抑制効果については、性別や年齢によって違いがありますが、平均では数十万円といわれています。

また、概ね 200 名の方が禁煙をすることで、将来の医療費が約 1 億円抑制できるともいわれています。喫煙抑制、禁煙へのご協力をよろしくお願いいたします。

■その他、特にご協力いただきたいこと

○ジェネリック医薬品の積極的な利用

○セルフメディケーション（※）

○保健事業への積極的な参加

- ・被扶養者向けの家族健診事業の受診勧奨
- ・特定保健指導（対象者へは個別案内予定）
- ・健康増進アプリ「kencom」の被扶養者登録
- ・「みんなで歩活」への参加（次回 11 月実施予定）

（※）セルフメディケーションとは、「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること」です（世界保健機関（WHO）定義）。

常日頃から自身の健康管理に気を配り、生活習慣病の予防や改善、重症化予防に努めることで健康寿命の延伸に繋がり、医療費の抑制が可能となります。

以上